

CASBEE-新築(簡易版)2008年版

関西ガスメータ株式会社 上鳥羽工場 北館新築工事

欄に数値またはコメントを記入

■使用評価マニュアル CASBEE-新築 (簡易版) 2008年

■評価ソフト: CASBEE-NCb_2008(v.3.1)

スコアシート 実施設計段階		環境配慮設計の概要記入欄				建物全体・共用部分	住居・宿泊部分	全体
配慮項目			評価点	重み係数	評価点	重み係数		
Q 建築物の環境品質								2.8
Q1 室内環境				0.30				2.9
1 音環境			2.1	0.15	-	-		2.1
1.1 騒音			3.0	0.40	-	-		
1 暗騒音レベル			3.0	1.00	3.0	-		
2 設備騒音対策			-	-	-	-		
1.2 遮音			1.8	0.40	-	-		
1 開口部遮音性能			1.0	0.60	3.0	-		
2 界壁遮音性能			3.0	0.40	3.0	-		
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)			3.0	-	3.0	-		
4 界床遮音性能(重量衝撃源)			3.0	-	3.0	-		
1.3 吸音			1.0	0.20	3.0	-		
2 温熱環境			2.2	0.35	-	-		2.2
2.1 室温制御			2.7	0.50	-	-		
1 室温設定			3.0	0.38	3.0	-		
2 負荷変動・追従制御性			-	-	-	-		
3 外皮性能			2.0	0.25	3.0	-		
4 ゾーン別制御性			3.0	0.38	3.0	-		
5 温度・湿度制御			-	-	-	-		
6 個別制御			-	-	-	-		
7 時間外空調に対する配慮			-	-	-	-		
8 監視システム			-	-	-	-		
2.2 湿度制御			3.0	0.20	3.0	-		
2.3 空調方式			1.0	0.30	3.0	-		
3 光・視環境			3.3	0.25	-	-		3.3
3.1 昼光利用			4.2	0.30	-	-		
1 昼光率	1階事務所、昼光率4.17		5.0	0.60	3.0	-		
2 方位別開口			3.0	-	3.0	-		
3 昼光利用設備			3.0	0.40	3.0	-		
3.2 グレア対策			3.0	0.30	-	-		
1 照明器具のグレア			-	-	-	-		
2 昼光制御			3.0	1.00	3.0	-		
3.3 照度			3.0	0.15	-	-		
1 照度			3.0	1.00	3.0	-		
2 照度均斉度			-	-	-	-		
3.4 照明制御			3.0	0.25	3.0	-		
4 空気質環境			3.8	0.25	-	-		3.8
4.1 発生源対策			4.0	0.50	-	-		
1 化学汚染物質	ほぼ全面的に対象外の建築材料を使用		4.0	1.00	3.0	-		
2 アスベスト対策			-	-	-	-		
3 ダニ・カビ等			-	-	-	-		
4 レジオネラ対策			-	-	-	-		
4.2 換気			2.6	0.30	-	-		
1 換気量			3.0	0.33	3.0	-		
2 自然換気性能	1階会議室、1/12.7程度		4.0	0.33	3.0	-		
3 取り入れ外気への配慮			1.0	0.33	3.0	-		
4 給気計画			-	-	-	-		
4.3 運用管理			5.0	0.20	-	-		
1 CO ₂ の監視			-	-	-	-		
2 喫煙の制御	喫煙ブースの設置有り		5.0	1.00	-	-		
Q2 サービス性能			-	0.30	-	-		3.3
1 機能性			2.9	0.40	-	-		2.9
1.1 機能性・使いやすさ			2.6	0.60	-	-		
1 広さ・収納性			1.0	0.33	3.0	-		
2 高度情報通信設備対応			2.0	0.33	3.0	-		
3 バリアフリー計画	施設整備基準に加え、施設整備誘導基準も満たしている		5.0	0.33	3.0	-		
1.2 心理性・快適性			3.3	0.40	-	-		
1 広さ感・景観	1階事務室、天井高2.7mかつ、窓の設置有り		4.0	0.33	3.0	-		
2 リフレッシュスペース	休憩室の設置及び自動販売機の設置有り		5.0	0.33	3.0	-		
3 内装計画			1.0	0.33	3.0	-		
1.3 維持管理			-	-	-	-		
1 維持管理に配慮した設計			3.0	-	-	-		
2 維持管理用機能の確保			3.0	-	-	-		
2 耐用性・信頼性			3.1	0.31	-	-		3.1
2.1 耐震・免震			3.0	0.48	-	-		
1 耐震性			3.0	0.80	-	-		
2 免震・制振性能			3.0	0.20	-	-		
2.2 部品・部材の耐用年数			3.2	0.33	-	-		
1 躯体材料の耐用年数			3.0	0.23	-	-		
2 外壁仕上材の補修必要間隔	外壁材にALC板を使用⇒40年		5.0	0.23	-	-		
3 主要内装仕上材の更新必要間隔			3.0	0.09	-	-		
4 空調換気ダクトの更新必要間隔			3.0	0.08	-	-		
5 空調・給排水配管の更新必要間隔			3.0	0.15	-	-		
6 主要設備機器の更新必要間隔			2.0	0.23	-	-		

2.3 適切な更新				-	-	-	-
2.4 信頼性			3.2	0.19	-	-	
1	空調・換気設備		3.0	0.20	-	-	
2	給排水・衛生設備		3.0	0.20	-	-	
3	電気設備		3.0	0.20	-	-	
4	機械・配管支持方法		3.0	0.20	-	-	
5	通信・情報設備	光ケーブルの引き込み有り、また浸水の危険性も無	4.0	0.20	-	-	
3 対応性・更新性			4.1	0.29	-	-	4.1
3.1 空間のゆとり			4.6	0.31	-	-	
1	階高のゆとり	階高4.4m	5.0	0.60	3.0	-	
2	空間の形状・自由さ	壁長さ比率、0.11	4.0	0.40	3.0	-	
3.2 荷重のゆとり		製品置場、積載過重5700N/m ²	5.0	0.31	3.0	-	
3.3 設備の更新性			3.0	0.38	-	-	
1	空調配管の更新性		3.0	0.17	-	-	
2	給排水管の更新性		3.0	0.17	-	-	
3	電気配線の更新性		3.0	0.11	-	-	
4	通信配線の更新性		3.0	0.11	-	-	
5	設備機器の更新性		3.0	0.22	-	-	
6	バックアップスペース		3.0	0.22	-	-	
Q3 室外環境(敷地内)			-	0.40	-	-	2.5
1 生物環境の保全と創出			2.0	0.30	-	-	2.0
2 まちなみ・景観への配慮			3.0	0.40	-	-	3.0
3 地域性・アメニティへの配慮			2.5	0.30	-	-	2.5
3.1	地域性への配慮、快適性の向上		2.0	0.50	-	-	
3.2	敷地内温熱環境の向上		3.0	0.50	-	-	
LR 建築物の環境負荷低減性			-	-	-	-	3.3
LR1 エネルギー			-	0.40	-	-	3.8
1 建物の熱負荷抑制			3.0	-	-	-	3.0
2 自然エネルギー利用			3.0	0.29	-	-	3.0
2.1	自然エネルギーの直接利用		3.0	0.50	-	-	
2.2	自然エネルギーの変換利用		3.0	0.50	-	-	
3 設備システムの高効率化		高効率器具の採用によりCEC/L、-25%以下	5.0	0.43	-	-	5.0
4 効率的運用			3.0	0.29	-	-	3.0
4.1	モニタリング		3.0	0.50	-	-	
4.2	運用管理体制		3.0	0.50	-	-	
LR2 資源・マテリアル			-	0.30	-	-	3.1
1 水資源保護			3.0	0.15	-	-	3.0
1.1	節水		3.0	0.40	-	-	
1.2	雨水利用・雑排水再利用		3.0	0.60	-	-	
1	雨水利用システム導入の有無		3.0	0.67	-	-	
2	雑排水再利用システム導入の有無		3.0	0.33	-	-	
2 非再生性資源の使用量削減			3.1	0.63	-	-	3.1
2.1	材料使用量の削減		3.0	0.07	-	-	
2.2	既存建築躯体等の継続使用		3.0	0.24	-	-	
2.3	躯体材料におけるリサイクル材の使用	なし	3.0	0.20	-	-	
2.4	非構造材料におけるリサイクル材の使用	磁器質タイル	3.0	0.20	-	-	
2.5	持続可能な森林から産出された木材		2.0	0.05	-	-	
2.6	部材の再利用可能性向上への取組み	1階事務室、躯体+軽鉄+PBにより分別が容易	4.0	0.24	-	-	
3 汚染物質含有材料の使用回避			3.0	0.22	-	-	3.0
3.1	有害物質を含まない材料の使用		3.0	0.32	-	-	
3.2	フロン・ハロンの回避		3.0	0.68	-	-	
1	消火剤		-	-	-	-	
2	断熱材		3.0	0.50	-	-	
3	冷媒		3.0	0.50	-	-	
LR3 敷地外環境			-	0.30	-	-	2.8
1 地球温暖化への配慮			3.0	0.33	-	-	3.0
2 地域環境への配慮			2.6	0.33	-	-	2.6
2.1	大気汚染防止		3.0	0.25	-	-	
2.2	温熱環境悪化の改善		2.0	0.50	-	-	
2.3	地域インフラへの負荷抑制		3.7	0.25	-	-	
1	雨水排水負荷低減		3.0	0.25	-	-	
2	汚水処理負荷抑制		3.0	0.25	-	-	
3	交通負荷抑制	駐輪、駐車場の設置、荷捌きスペースの確保	4.0	0.25	-	-	
4	廃棄物処理負荷抑制	分別回収を推進するためのスペースの設置	5.0	0.25	-	-	
3 周辺環境への配慮			3.0	0.33	-	-	3.0
3.1 騒音・振動・悪臭の防止			3.0	0.40	-	-	
1	騒音		3.0	0.50	-	-	
2	振動		3.0	0.50	-	-	
3	悪臭		-	-	-	-	
3.2 風害、日照阻害の抑制			3.0	0.40	-	-	
1	風害の抑制		3.0	0.70	-	-	
2	日照阻害の抑制		3.0	0.30	-	-	
3.3 光害の抑制			3.0	0.20	-	-	
1	屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策		3.0	0.70	-	-	
2	星光の建物外壁による反射光(グレア)への対策		3.0	0.30	-	-	